

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	守屋 良美 【ライフサイエンス専攻 平成25年度生】	
論文題目	浄水処理における藻類の抑制・除去への光照射の適用	<p>本論文は、湖沼水を原水とする浄水処理場において問題とされる原水中藻類の対策技術として紫外光および可視光の照射による効果を検討したものである。藻類の単離株を対象とした検討はこれまでも多くあったが、多種の藻類が混合した系において現場および実験室規模の紫外線照射装置を用いて、その抑制効果を発揮するに必要な条件を見出し、かつ紫外線照射による藻類細胞の損傷の確認を新しい手法にて行い、明確な証拠を示すことができた。また可視光による藻類の凝集沈殿促進効果についても、種によって効果の有無があることを見出すことができた。</p> <p>平成 28 年 1 月 21 日，同年 2 月 10 日，同年 2 月 12 日と審査会を行い，論文内容については口頭審査を受けるに十分なものであるとの評価がなされた。併せて論文内容における不備や論文構成に関する修正が求められたが，申請者はそれらの指摘事項に関して修正を行った。</p> <p>平成 28 年 2 月 18 日に開催された第 4 回審査会で，本論文に対する本人の口頭発表を実施し，研究の目的や意義，各実験内容についての確認，および得られた成果や方法論の提言に関しての質疑応答を行うとともに，学力の確認を行った。結果として問題なしと判定された。</p> <p>これらの成果をふまえて，平成 28 年 2 月 26 日に公開発表，並びに最終審査会を開催した。その際，発表内容および質疑応答から，本人の研究内容に対する理解，研究成果の解釈などは適切であり，最終試験に合格するに相応しい内容であると確認された。</p> <p>以上の結果から，本審査委員会は本論文が人間文化創成科学研究科の博士（理学）(Ph. D. in Environmental Engineering) に相応しいと判定した。</p>
審査委員	(主査) 教授 大瀧 雅寛	
	教授 仲西 正	
	教授 太田 裕治	
	准教授 元岡 展久	
	教授 村田 容常	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第 24 条第 4 項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	

